

	<h1>宮ノ陣</h1>	<p>校訓</p>	<p>自主 友愛 真理</p>	<p>志をもって意欲的に学び自律心と 感謝の心をもつたくましい生徒 “ 凡事徹底 ”・“ 共感、共汗、共歓 ”</p>
---	--------------	-----------	-------------------------	---

《 文責 》 校長 荒木 修

## 3学期スタート！

～ コミュニケーションを大切に ～

[メラビアンの法則とは？]



博多の森から望む初日の出

新しい年が幕を開け、本日より3学期が始まりました。朝から生徒たちの元気な声が校舎内に響き、多くの笑顔を見ることができました。宮中生全員が、元気な笑顔で学校生活を過ごせる1年となることを心から願っています。



さて、昨年12月17日(土)・18日(日)の2日間の日程で開催された「第67回日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会」に参加してきました。各県代表校による自校のPTA活動に関する発表や、ガレッジセールのゴリ氏の記念講演も行われるなど充実した内容で、多くの学びがありました。それらの中で、特に印象に残ったのは、ある学校のPTAの方が発表するときに使われた「メラビアンの法則」についての話です。

「メラビアンの法則」は、カリフォルニア大学の名誉教授であったアルバート・メラビアン氏が、1971年に提唱した「人と人とのコミュニケーションに関する法則」のことで、「相手の人に自分の考えや気持ちを伝えようとするとき、相手の人は、伝えようとする人のどんな情報から判断しているのか」といったことを研究して、その結果を数値化したもののことです。

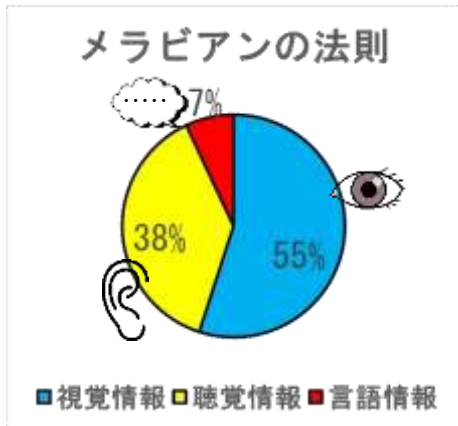
メラビアン氏は、人と人がコミュニケーションを取るとき、「人は、言語・聴覚・視覚の3つの情報から相手を判断している」としました。

言語情報 (Verbal) 相手が話している言葉の意味や話の内容など、言語によって得られる情報のこと。

聴覚情報 (Vocal) 相手が発する声の大きさやトーン、口調などの話し方やスピードといった、耳に入る音声から得られる情報のこと。

視覚情報 (Visual) 相手の態度や表情、目線、身振り手振りといった仕草など、視覚で得られる情報のこと。





そして、この3つの情報が一致していない時に、どの情報が優先されるか、どの情報が相手の印象に影響を与えるか示したものです。メラビアンの法則では、言語情報が7%、聴覚情報が38%、視覚情報が55%影響を与える…とされています。

メラビアンの法則を理解するための簡単な例として、テレビや舞台上で活躍されている竹中直人氏のパフォーマンスで「笑いながら怒る人」を挙げてみましょう。

竹中氏がこのパフォーマンスをするときには、満面の笑顔をかべながら相手に対して強い口調や言葉で怒りをあらわにします。このとき相手は、竹中氏が「満面の笑顔をかべている」様子を見ている（視覚情報）ため、あまり怒っているようには感じません。つまり、相手は、言語や聴覚からの情報よりも視覚からの情報を優先して竹中氏を判断していることになります。

このように、人とのコミュニケーションでは、視覚情報が最も優先されるという結果から、相手に伝わりやすい話し方とは

- ・ 表情や身振り手振りも活用する（視覚情報）
- ・ 声の高さや抑揚に変化をつける（聴覚情報）
- ・ 内容が伝わるよう言葉を選択する（言語情報）



ことで、何より「3つの情報を一致させること」だと言えるのではないのでしょうか。

さて、ここで皆さんの生活を振り返ってみましょう。朝、「おはよう」と声をかけられたときに相手の方を見ないまま低いトーンで「おはよう」と返しているようなことはありませんか？

話しかけられたとき「うん、そうだね」と笑顔で言った場合と、無表情で「うん、そうだね」と言った場合、相手は、どちらの方が同意の意味として強く捉えるのでしょうか？



宮中から次のステージへと向かう時に行われる「面接」の場で、自分自身のことを上手く伝えるためには、どのようなことを意識して話をすれば相手に伝わるのでしょうか？

宮中の伝統の一つである「凡事徹底」の4つの行動の中に「挨拶」があります。まずは、この「挨拶」から宮中生全員がメラビアンの法則を少し意識して、学校でも、家庭でも、地域でも実践していきましょう。

## 今年度の卒業式の期日のお知らせ

今年度の卒業式は、3月10日(金)に挙行することとなりましたのでお知らせ致します。なお、参列される保護者の皆様の人数等につきましては、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮しながら、今後、検討した上で改めてお知らせ致します。

